

問1 アメリカ合衆国のカリフォルニア州では、家庭内で英語以外の言語を話す人のうち、約半数にあたる49%がラテンアメリカ出身者で占められています。このような人口構成を背景に、カリフォルニア州の公共施設や日常生活において、英語とともに広く使用されている言語として適切なものはどれですか。（2026年 広島公立入試 類似）

1. スペイン語 2. ポルトガル語 3. フランス語 4. アラビア語

問2 アメリカ合衆国の農業就業者数は約241万人で穀物収穫量は約3億5693万トン、対する日本の農業就業者数は約125万人で穀物収穫量は約1173万トンという統計があります。このデータから算出される、農業就業者1人当たりの穀物収穫量の差と、その背景にあるアメリカの農業の特徴を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。（2021年 長野県公立入試 類似）

1. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、広大な農地で大型機械を利用する大規模農業が展開されている。
2. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、狭い土地に多くの肥料と労働力を投入する集約的な農業が展開されている。
3. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約170トン多く、適地適作の考えに基づき、特定の農産物を専門的に生産している。
4. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約1400トン多く、バイオテクノロジーを用いた品種改良により生産性を高めている。

問3 アメリカ合衆国のサンベルトにおいて、1970年代から工業が急速に発展した理由を説明した文として、適切なものを選んでください。（2015年 兵庫公立入試 類似）

1. 温暖な気候や安価な労働力を求めて、先端技術産業が北部から移転・進出したため。
2. 五大湖の水運とアパラチア山脈の石炭資源を組み合わせた重工業が成長したため。
3. 政府が北緯37度以南への居住を法律で強制し、労働力を確保したため。
4. 綿花栽培などのプランテーション農業が衰退し、跡地がすべて牧場に変ったため。

問4 アメリカ合衆国西海岸のカリフォルニア州北部に位置する、サンフランシスコ湾の周辺地域について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 広島公立入試 類似）

1. ICT（情報通信技術）に関連する世界的な企業や先端技術産業の研究拠点が集積しており、シリコンバレーと呼ばれている。
2. 航空機産業やソフトウェア産業が発達しており、マイクロソフトやアマゾンなどの本社が置かれているシアトル周辺の地域である。
3. かつて自動車工業の中心地として発展したが、現在は産業の衰退によって「ラストベルト」と呼ばれる地域の一部となっている。
4. 伝統的な繊維工業や商工業の拠点であり、ボストンを中心に多くの名門大学が集まる学術都市圏を形成している。

問5 カナダの地理的・経済的特徴について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 広大な国土に対して人口密度が極めて低く、大規模な機械化農業によって世界有数の小麦の生産量を誇る。
2. 豊富な労働力を背景とした集約的な稲作が行われており、人口密度が非常に高く、食料自給率も高い。
3. 熱帯雨林の開発により大豆の生産が盛んだが、急速な人口増加により1人あたりの国内総生産は低い水準にある。
4. 広大な国土を持つが、乾燥帯が多いため農業は振るわず、経済は原油などの鉱産資源の輸出にのみ依存している。

問6 ある国の統計資料において、人口密度が1平方キロメートルあたり4人と極めて低く、穀物生産量が年間4,500万トンを超える大規模な農業が行われている国があります。また、この国の輸出品目は上位から順に燃料、機械類、自動車となっている場合、この条件に当てはまる国として適切なものはどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. カナダ 2. アメリカ合衆国 3. オーストラリア 4. ロシア

問7 アメリカ合衆国の南東部の諸州において、他の地域と比較してアフリカ系の人々の割合が高い状態が続いている歴史的な背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2026年 沖縄公立入試 類似）

1. かつての綿花栽培などのプランテーションにおいて、労働力として強制的に連れてこられた歴史があるため。
2. 太平洋を通じた交易の拠点として、アジア諸国からの移住者が最初に定着した地域であるため。
3. メキシコとの国境に接しており、安価な労働力を求める工場が集中したため。
4. 19世紀後半に金鉱が発見され、世界中から一攫千金を狙う人々が集まった地域であるため。

問8 ある国の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり約4人と極めて低く、1人あたりの国内総生産（GDP）が約4万2000ドルと高い水準にあり、さらに小麦の生産量が年間3000万トンを超える世界有数の農業国でもある国はどこか、次の中から選びなさい。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. カナダ 2. ブラジル 3. インド 4. ナイジェリア

答え合わせ・解説

問1	答え 1 スペイン語	カリフォルニア州はメキシコと国境を接しており、地理的に近いラテンアメリカからの移住者が非常に多いため、ヒスパニックの母語であるスペイン語が広く浸透しています。ラテンアメリカ諸国は、ブラジル（ポルトガル語）を除き、その多くがスペイン語を公用語としているため、アメリカ国内でもスペイン語による放送や標記が一般化しています。
問2	答え 1 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、広大な農地で大型機械を利用する大規模農業が展開されている。	アメリカ合衆国の1人当たり収穫量は約148トン（35693万÷241万）、日本は約9トン（1173万÷125万）となり、その差は約139トン（約140トン）に達します。アメリカでは広大な国土を活かし、農業就業者1人が担当する耕地面積が非常に大きい大規模農業が行われています。大型機械を導入して省力化を図っているため、労働者1人当たりの生産性が極めて高いのが特徴です。
問3	答え 1 温暖な気候や安価な労働力を求めて、先端技術産業が北部から移転・進出したため。	サンベルトの発展には、北部の古い工業地帯に比べて労働賃金が安かったことや、広い工場用地が確保しやすかったこと、さらには冷房設備の普及により温暖な地域での生活や活動が容易になったことが背景にあります。これに加えて、先端技術産業の誘致政策が積極的に行われたことで、多くの企業が拠点を移しました。
問4	答え 1 ICT（情報通信技術）に関連する世界的な企業や先端技術産業の研究拠点が集積しており、シリコンバレーと呼ばれている。	カリフォルニア州のサンフランシスコ近郊には、半導体やソフトウェアなどのハイテク産業が集中しています。半導体の主原料であるシリコンにちなんで「シリコンバレー」と名付けられました。スタンフォード大学などの有力な大学や研究機関が近くにあることから、優秀な人材が集まりやすく、企業と大学が連携した「産学連携」によって世界をリードするICT拠点が形成されました。
問5	答え 1 広大な国土に対して人口密度が極めて低く、大規模な機械化農業によって世界有数の小麦の生産量を誇る。	カナダは人口密度が1平方キロメートルあたり約4人と、世界的に見ても極めて人口が希薄な国です。しかし、広大な平原（プレーリーなど）において、航空機や大型機械を用いた効率的な農業を行うことで、世界的な小麦の供給地となっています。高い付加価値を生む工業やサービス業も発展しているため、1人あたりの国内総生産も先進国水準に達しています。
問6	答え 1 カナダ	北アメリカ州に位置するこの国は、世界第2位の広大な国土を持ちながら人口密度が非常に低いことが特徴です。広大な土地を活かした大規模な機械化農業により、小麦などの穀物生産が盛んに行われています。また、石油（オイルサンドなど）や天然ガスといった豊富なエネルギー資源の輸出が盛んであるほか、隣接するアメリカ合衆国との密接な経済関係により機械類や自動車の製造・輸出も産業の大きな柱となっています。
問7	答え 1 かつての綿花栽培などのプランテーションにおいて、労働力として強制的に連れてこられた歴史があるため。	アメリカ南部（南東部）では、かつて温暖な気候を利用した綿花やタバコなどの大規模農園（プランテーション）が発達しました。その労働力としてアフリカから多くの人々が奴隷として強制的に連れてこられた経緯があるため、現在でもこの地域にはアフリカ系の人々が多く分布しています。
問8	答え 1 カナダ	北アメリカ大陸の北部に位置するこの国は、ロシアに次ぐ世界第2位の広大な面積を持ちますが、寒冷な気候などの影響もあり人口密度は非常に低くなっています。一方で、広大な平原を利用した大規模な機械化農業が発達しており、少ない労働力で大量の小麦の生産量を実現しています。また、先進工業国として1人あたりの国内総生産も高いのが特徴です。